



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

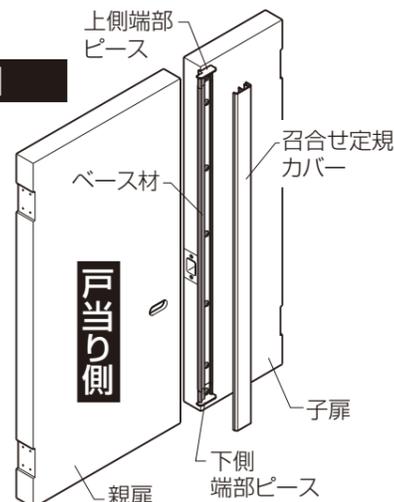
■取付けされる方へのお願い

- 取付けを始める前に、必ず子扉の召合せ定規取付け面を確認してください。
※召合せ定規取付け面上部にあらかじめ上側端部ピース取付け用の下穴があいています。
- 下穴はφ2.5~φ3、深さ10mmであけてください。
- 召合せ定規は、本体側丁番より先に取付けてください。

■取付け上のお願

- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付ドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部材・部品の脱落などの原因になります。
- 端部ピース、ベース材の取付けねじは、締めすぎないようにしてください。端部ピースまたはベース材が変形し、召合せ定規カバーの取付けができないおそれがあります。
- 子扉上下端部には、フランス落とし部品が取付けられています。下穴をあける際にはドリルを押し込みすぎないようにしてください。フランス落としの破損の原因になります。
- 下穴は必ず指定の位置、大きさであけてください。指定の位置、大きさであけないと、ねじが抜ける原因になります。

■構成図



■部材・部品の明細

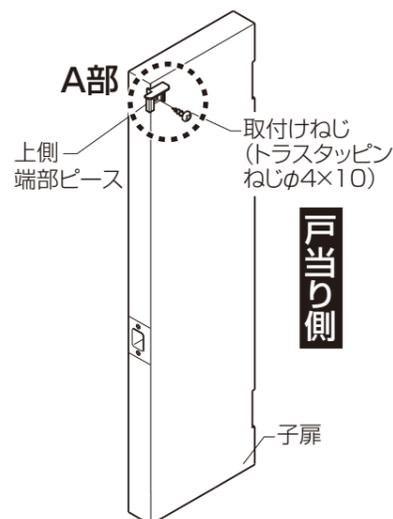
名称	召合せ定規カバー	ベース材
姿図		

●部品セット

名称	端部ピース	取付けねじ	取付け説明書
姿図			
入数	上用=1個/下用=1個	トラスタップンねじφ4×10 19本	1部

■取付け順序

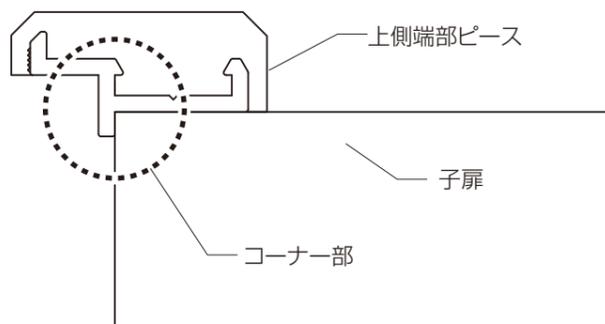
1 上側端部ピースの取付け



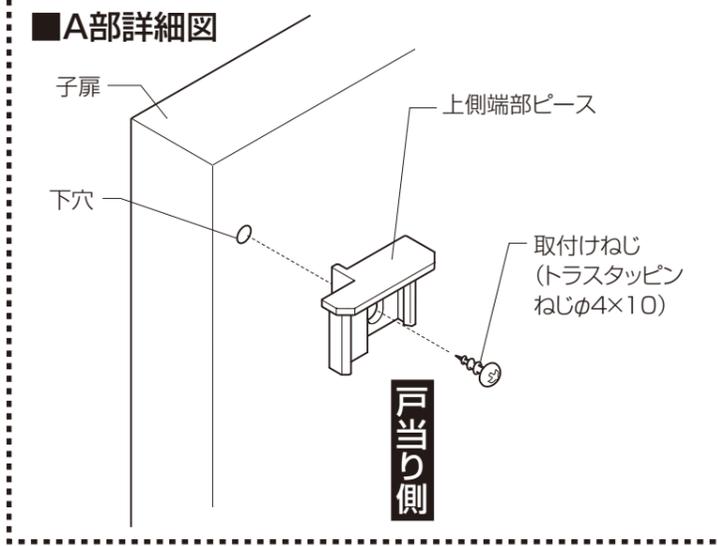
■取付け詳細

1 上側端部ピースの取付け

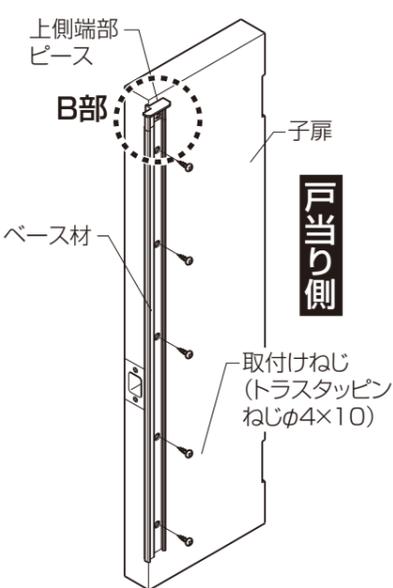
- 上部端部ピースを本体上部の下穴に合わせ、同梱のねじ(トラスタップンねじφ4×10)で取付けます。
※ドア木口面にコーナー部を当てて取付けてください。



■A部詳細図



2 ベース材の取付け

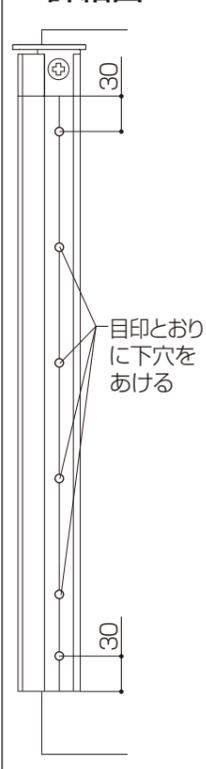


2 ベース材の取付け

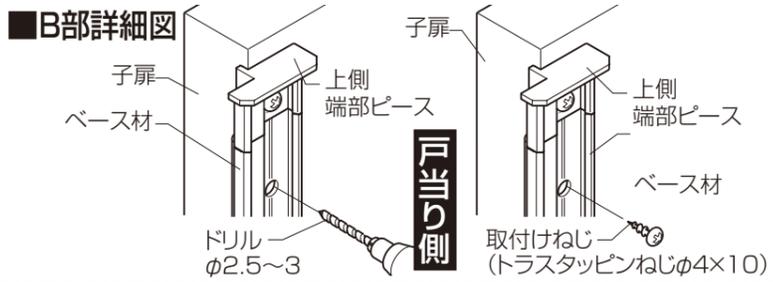
- ①上側端部ピースとの間にすき間があかないようにベース材を配置し、右図の位置に下穴φ2.5~3×深さ10をあけ、取付けねじ(トラスタップンねじφ4×10)で取付けます。
※ベース材は、ドア木口面にコーナー部を当てて取付けます。
- ②ベース材取付けねじがストライクまたは横溝デザインのあるときは、取付けねじをストライクの上下に10mmずつずらして取付けます。

●お願い
※下穴は必ず指定の位置、大きさであけてください。指定の位置、大きさであけないと、ねじが抜ける原因になります。

■下穴位置詳細図

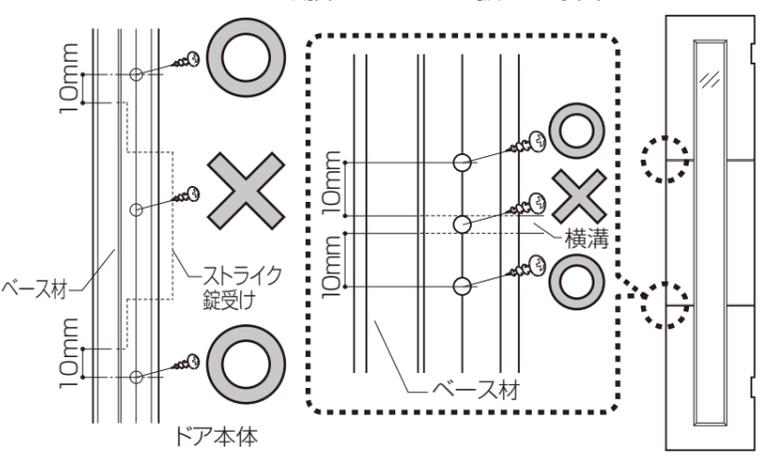


■B部詳細図

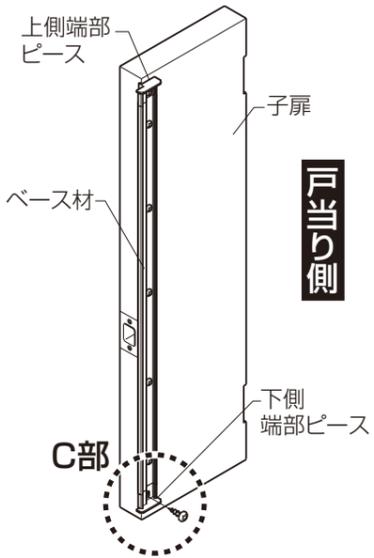


●お願い

※ストライク・錠受けまたは横溝の位置には、取付けねじを打たないでください。ストライクの破損およびねじの抜ける原因になります。



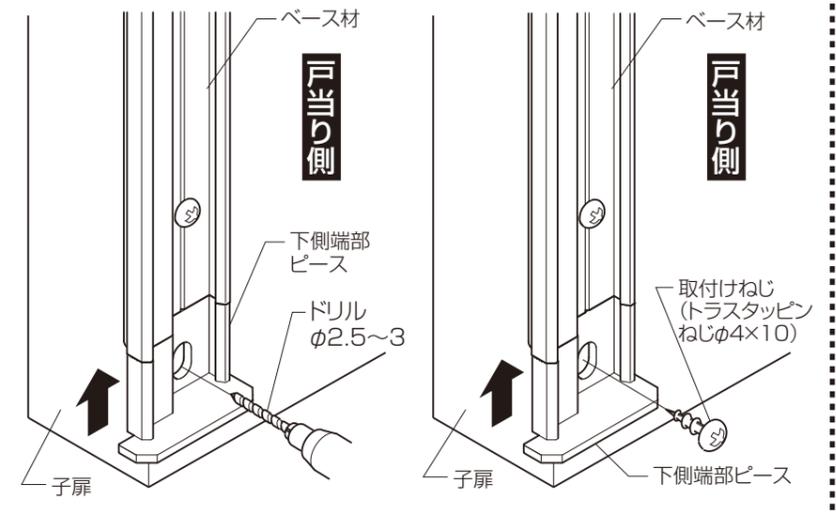
3 下側端部ピースの仮固定



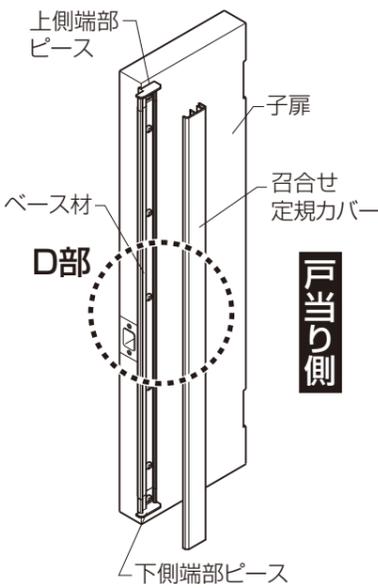
3 下側端部ピースの仮固定

- 下側端部ピースをベース材下端に当てて、下穴φ2.5~3×深さ10をあけ、同梱の取付けねじ(トラスタッピンねじφ4×10)で取付けます。
- ※ 召合せ定規カバーを取付ける際に位置調整をしますので、下側端部ピースは仮固定してください。
- ※ 端部ピースは、ドア木口面にコーナー部を当てて取付けてください。

■C部詳細図

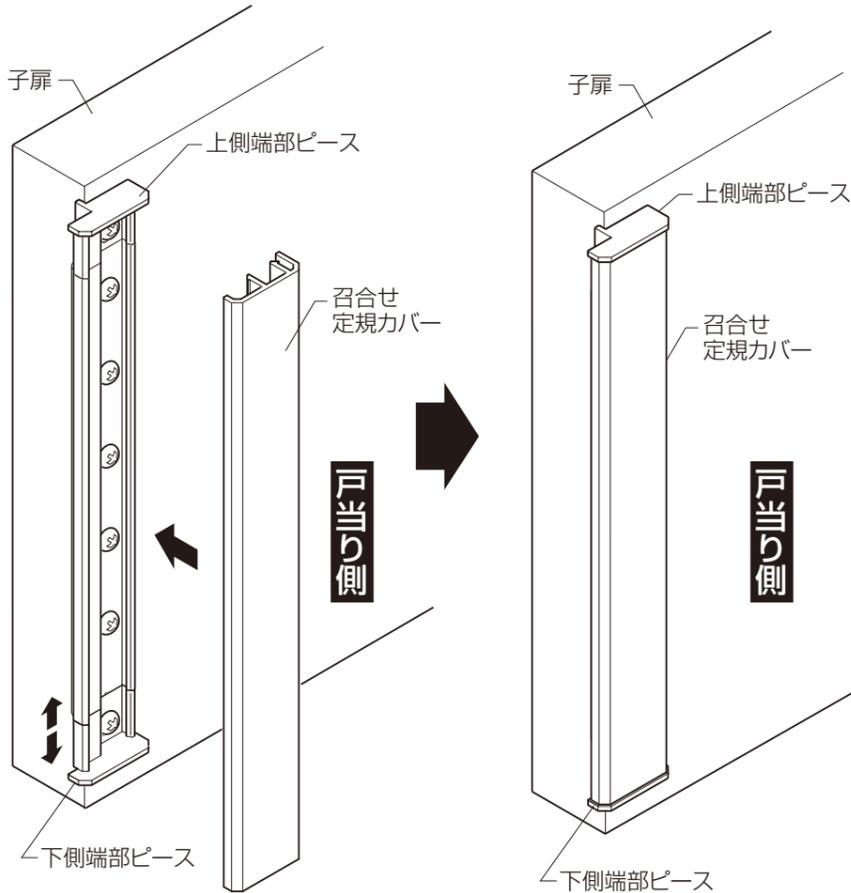


4 下側端部ピースの本固定および召合せ定規本体の取付け

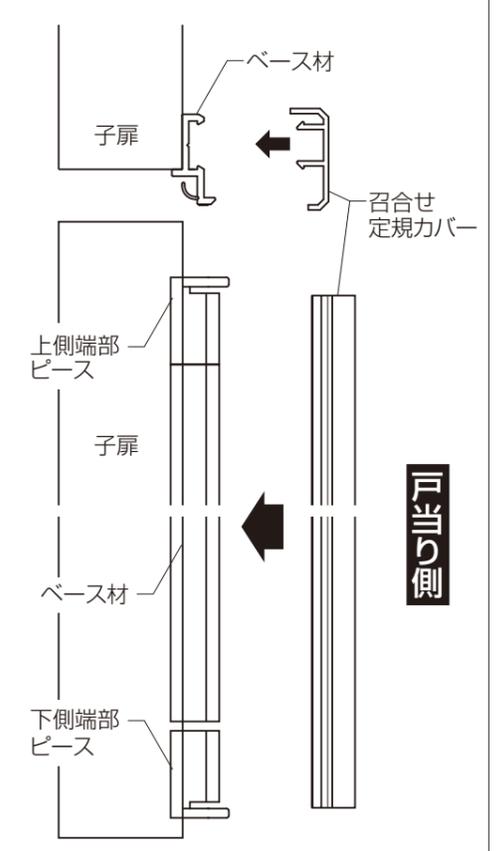


4 下側端部ピースの本固定および召合せ定規カバーの取付け

- ① 召合せ定規カバーを、ベース材と下側端部ピースに当てて寸法を合せます。
※ 寸法が合わない場合は、下側端部ピースを上下にずらして調整してください。
- ② 調整後、召合せ定規カバーを外して下側端部ピースを本固定してください。



■寸法合わせ詳細図



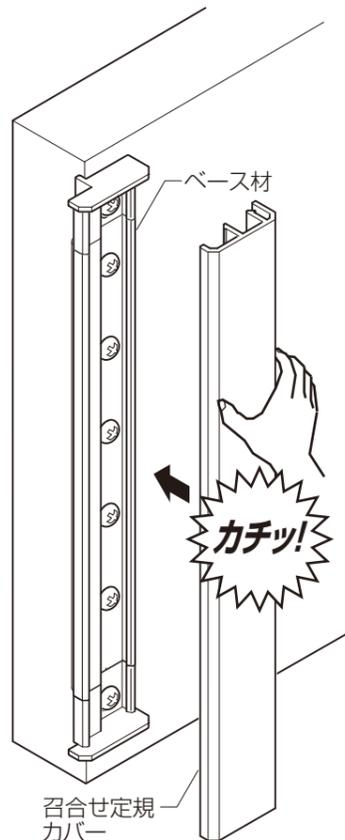
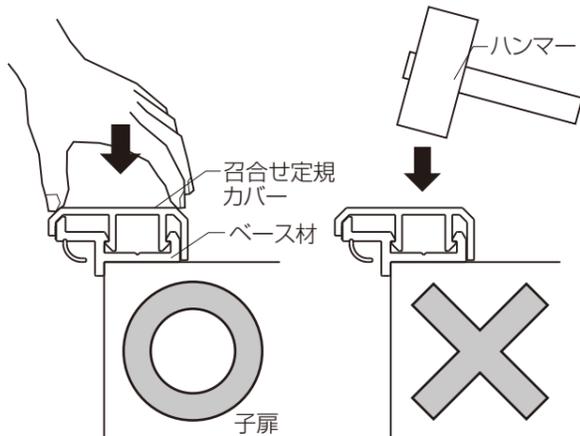
■取付け完成図



- ③ 召合せ定規カバーを、「カチッ!」と音がするまでしっかりはめ込みます。(手で押せば簡単にはまりません。)
- ※ 召合せ定規カバーの面と、ドア本体が平行になっていることを確認してください。

お願い

- ※ 召合せ定規カバーは、ハンマーなどで直接たたき込まないでください。



■D部詳細図

